

34. 公益社団法人移行に伴う福島県診療放射線技師会ホームページリニューアルへの取り組みについて

(公社) 福島県診療放射線技師会 ネットワーク委員会 ○石森光一

齊藤聖二 渡辺 進 伊藤 敬 小林 瞳

末永徳明 田代雅実 菅野和之 新里昌一

【経緯】

福島県診療放射線技師会（以下：当会）は2013年4月に公益社団法人へと移行し、2013年6月に会員向けに発信していたホームページ（以下：HP）の内容を一般住民にも発信することとなり全面リニューアルを行った。

【目的】

当会HPリニューアルの取り組みを報告する。

【方法】

以下の項目に関し、2013年6月から現在までの取り組みを振り返った。

1. 運用管理の検討
2. リニューアルからの作業進捗
3. HP デザインの変更
4. HP の構成
5. HP 掲載における情報管理の工夫
6. 新たに作成したページ
7. 新たなサービス開始

【結果】

運用管理の検討をFig. 1に示す。HPの運用と管理は、作成および更新作業を全て業者に委託するものと自分たちで維持管理する二種類の方法がある。当会ではHP運用開始当初から維持管理費を抑えながら、掲載情報のリアルタイム更新を行うために、ホスティングサービスとドメイン使用の契約のみを行い、それ以外の作業を自分たちで行っている。自分たちで維持管理するとなるとHP作成に関する技術の習得やWEBサーバーへのデータのアップロードなどに時間が掛かってしまう。それらの問題を解決するために、約4万円程度のHP作成・更新ソフトを導入・利用することでページ作成と更新を手軽に行うことが出来、ボタンクリック一つでWebサーバー上のデータ更新作業を完了することが出来るようになった。

リニューアルからの作業進捗をFig. 2に示す。公益社団法人に移行後、二ヶ月おいて既存のページをリニ

ューアルした。その後、メーリングリストで委員の中での話し合いを行いながら新しいページを追加して現在に至っている。

	業者委託	当会で管理
作成費用	数十万円 (ページ数制限あり)	数万円 (HP作成ソフト使用)
年間維持管理費用	高い	安い
更新回数	制限あり	無制限
デザインの自由度	制限あり (委託業者の技術に依存)	制限あり (作成ソフトの自由度に依存)
更新タイミング	遅い	随時

※「ホスティングサービス使用料」と「ドメイン使用料」は同額のため記載せず。

Fig.1：運用管理の検討

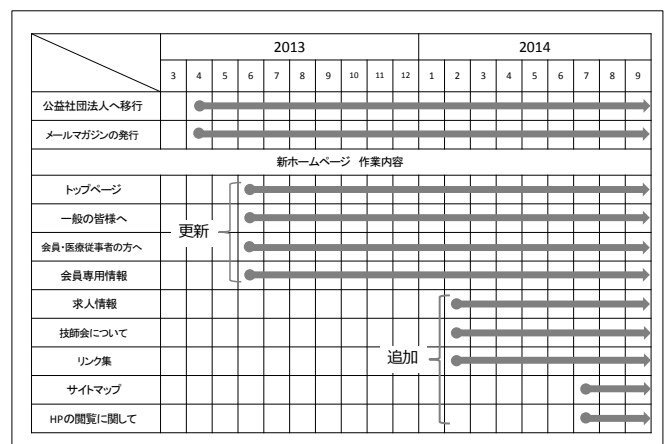


Fig.2：リニューアルからの作業進捗

HPデザインの変更をFig. 3に示す。左側がリニューアル前、右側がリニューアル後のデザインである。HP作成・更新ソフトを使用することにより最新WEB技術を使用したデザインのページを作成する事ができるようになった。当会の顔となるトップページには、必要最小限の情報を掲載し、訪問者は該当項目をクリックすることで、目的の情報が掲載されているページにたどり着くようになっていく。ページ構成は、広く普及している15インチノート型パソコンの画面解像度を考慮し、目的の情報へなるべくマウスのスクロール操作を減らしたどり着くようにした。

HPの構成をFig. 4に示す。作成後の維持管理および今後の情報掲載ページの増加、ならびに訪問者のペー

ジ読み込み時間短縮のためにスライドのように大きな項目で各ページを分割管理している。このような構成とすることで、訪問者の回線環境にある程度左右されるが、表示完了までの時間を5秒以内とし、ストレス無く閲覧できるようにしている。また、掲載情報の更新がしやすく、配信を管理するWebサーバーへのアップロード時間の大幅な短縮ができた。



Fig.3 : HP デザインの変更

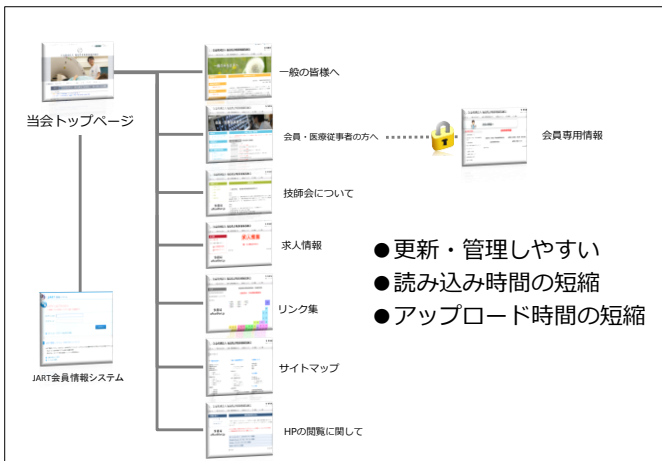


Fig.4 : HP の構成

HP 掲載情報の管理の工夫を Fig. 5 に示す。HP を開設するということは、Yahoo や Google 等の大手検索サイトや悪意のある人が検索ロボットと呼ばれるプログラムを使って HP 上の情報が収集されるということになる。この問題として、悪意のある人は HP 上に掲載されているメールアドレス情報を収集し、迷惑メールを送りつけるという行為が行われてしまう事である。当会ではこのような問題を未然に防ぐために、一部の情報は画像データとして掲載している。

全面リニューアル後に、日本診療放射線技師会や有名な一般企業の HP を参考にして新たなページを作成した。特に求人情報のページは掲載料無しで県内外の情報を三ヶ月の期限付きで掲載している。

HP のリニューアルにあわせて特に力を入れたのが、新たな会員向けサービスとしてのメールマガジンの配信である。リアルタイムに情報を提供できる HP であるが、毎日当会 HP を訪れてくれる会員はいないと思い、HP 更新を何らかのアクションでお知らせするにはど

うしたらよいか? を検討しメールマガジンの配信を開始した。配信にあたり、作業者の負担を極力抑えるためメール本文には大まかな更新情報とリンク URL のみしか記載しておらず、詳細を知りたいのであればメール内の当会HPへのリンク URL をクリックして訪問してもらうシステムとしている。配信時間は平日の 8:00 とし、配信対象者は当会 HP に掲載されている手順を踏んで登録した会員となっている。このメールマガジン配信の一番の特徴は、携帯のキャリアメールへの配信で迷惑メールまたは受信拒否とならないことである。この機能のおかげでメールマガジン登録者に対し確実にメールが届くようになった。

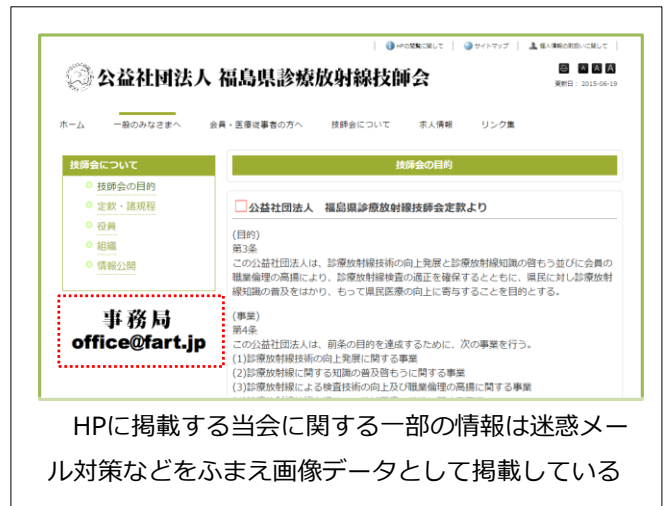


Fig.5 : HP 掲載情報の管理の工夫

【考察】

以上の結果から、維持管理費を大幅に抑えた運用を構築することができたが、HP 運用管理担当者の作業時間と責任が増えた。メールマガジンの配信は、配信先の環境や登録手続きなどが簡単に行えることが功を奏していると考え、現在のところ大きなトラブルも無く運用が行えている。多くの作業時間を費やすことなく HP の更新やメールマガジンの配信が行えるようにシステムを構築することができたが、HP 運用管理担当者は自施設のコンプライアンスで個人のパソコンの持ち込みができないので、実際の作業は帰宅後または休日中の作業となっているが、全体的なサービスとしては問題なく運用が行えていると考える。

【まとめ】

HP リニューアルを実施したことにより、デザインが大幅に変更され、見やすく管理しやすいHPを構築することができた。今後の課題は、メールマガジン登録者数の増加および HP 運用管理者の後任と更新の継続である。

